

新たな取り組み（ネット関連事業等）



これまでの
・学校団体等の自然体験行事での利用
・スポーツチーム等のチームビルディング合宿での利用
・企業等の内定者研修や職員研修等での利用
・子ども対象事業や親子対象事業等の自然体験事業
を中心とした取り組みに加え、
新たに『ネット関連事業』に取り組んでいます。

近年の急速な情報化やデジタルツールの普及等で、ネットやスマホ依存傾向が強まっている社会課題に、諸機関と連携し、「リアルな体験」を提供することでネットとの上手な付き合い方を学ぶ事業です。

2024年度から文部科学省受託事業として「オフラインキャンプin吉野」を開催し、2025年度はこの事業に加え、ネットデイキャンプも計画し、引き続きネット関連事業に取り組んでまいります。

※オフラインキャンプの様子は、メディアにも取り上げられました。

2024年度：MBS、NHK 2025年度：読売テレビ

YouTube等で、ぜひご覧くださいませ。

オフラインキャンプ

2025 オフラインキャンプ

【YouTube動画/読売テレビ】→



ユースサービス大阪
吉野宮滝野外学校

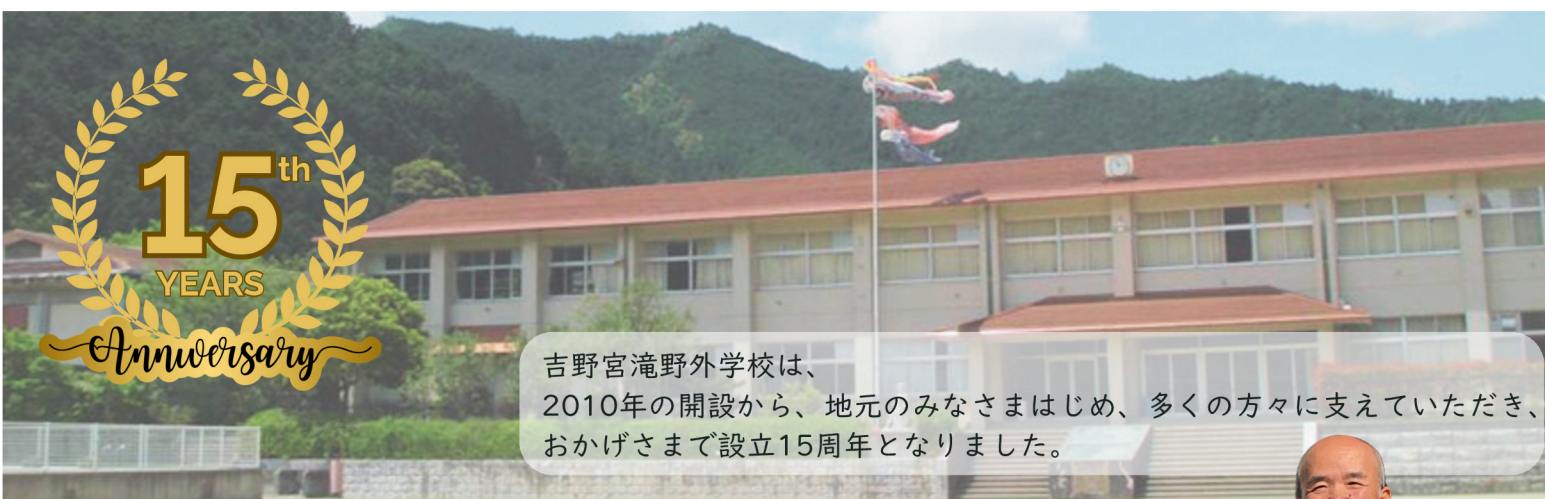
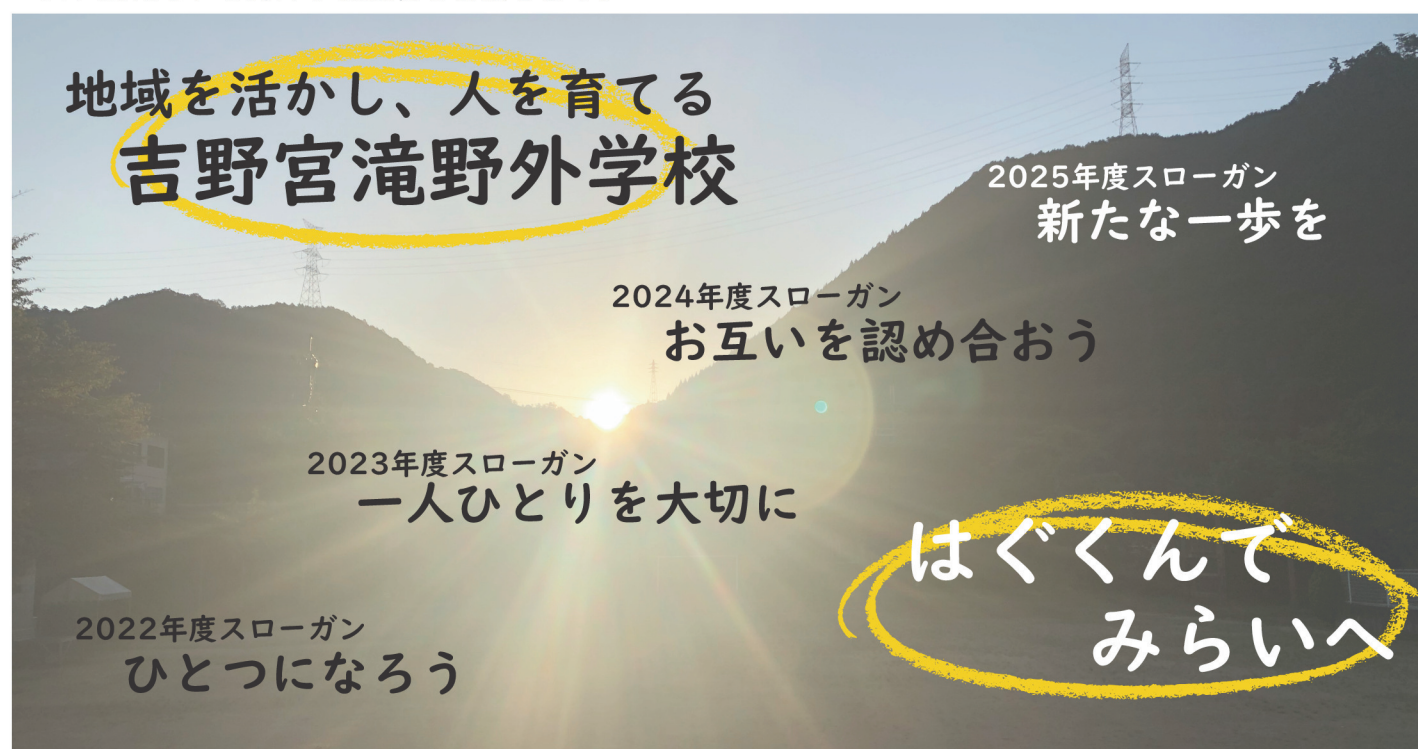
その他
取り組みの様子はこちら
【野外学校facebook】→



私たちのvision

開設からの15年間、本当にたくさんの方々に野外学校をご利用いただきました。そして、コロナ禍を経て、改めて社会全体として、リアルな体験活動の大切さを実感し、『野外を含む体験活動の専門施設として』私たちが社会に還元できることは何か？ということを考え続けてまいりました。

2022年度からは利用者の皆様にも、野外学校の取り組みを感じていただけるよう、年度スローガンを掲げてまいりました。野外学校開設20周年、30周年…と未来へ紡いでいけるよう、利用者の皆様や社会のニーズに応えられる野外学校運営を目指します。



吉野宮滝野外学校は、
2010年の開設から、地元のみなさまはじめ、多くの方々に支えていただき、
おかげさまで設立15周年となりました。

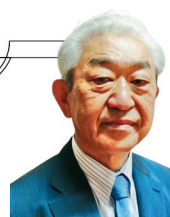


吉野宮滝野外学校開校15周年を迎えて

（一財）大阪府青少年活動財団理事長 永吉宏英

吉野宮滝野外学校は、平成22年に吉野町様のおはからいで「中荘小学校」の跡地を活用し、開校させていただいて、本年で15周年を迎えることができました。開校以来、小・中学生や高校生、大学生などを中心に、年間1万人を超えるみなさまにご利用いただいております。嬉しいことに令和元年には吉野町様から感謝状をいただくことができました。ありがとうございます。近年では、「スマホと上手につきあうキャンプ」や「自閉症などの障がいを持つ子のキャンプ」など、社会的な課題に挑戦するキャンプにも取り組んでおり、野外学校は更なる成長を目指しております。

野外学校がこのように多くの方々にご利用いただけているのは、ひとえに吉野町様や警察、消防のみなさま、職員やキッチンスタッフなどとして頑張っているみなさま、薪や味噌、食料など、キャンプに必須のプログラムに必要な品々を納入していただいているみなさま、バスの配車や駐車、農園や田園の維持・管理等にご尽力いただいているみなさま、自治会のみなさまなどなど、数え切れないほどの地元のみなさまの温かいお力添えの賜物でございます。心から感謝を申し上げますとともに、財団はこれからも更なる発展をめざして頑張っていきたいと思いますことをお誓い申し上げます。



祝 辞

吉野宮滝野外学校名誉校長 北岡 篤

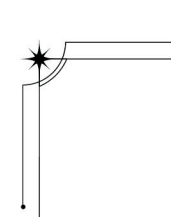
「吉野宮滝野外学校」開校15周年、おめでとうございます。

素晴らしい事業を地元交流も進めながら見事に展開されていることに敬意を表します。

これからも皆さんに愛され、ますます発展されることをお祈りします。

旧中荘小学校の廃校舎利用をお願いした時、当時の大阪府政のもと苦労されていたようで、うまく話がまとまりました。廃校舎への企業団体の誘致ということでは誇れる成功例かと思います。たくさんの方が利用され様々な体験をし、吉野を感じて帰られる。こんな素敵な事業スキームはまずありません。

「人の役に立つものはなくならない」と私は思っています。だからこそ「吉野宮滝野外学校」はコロナ禍も無事に乗り切ってこられました。これからも永遠に続くことも確信しています。



祝 辞



吉野町町長 中井 章太

吉野宮滝野外学校の開設15周年、心よりお祝い申し上げます。

長きにわたり自然と人を結ぶ学びの場として、多くの子どもたちに、困難を楽しみ、仲間を信頼する心を育ててくださったことに深く感謝します。

吉野の自然や伝統工芸、歴史文化に触れ、学ぶ体験を通じ、「生きる力」と「創造力」を育むことはもちろん、季節ごとに変わる吉野産の食材を取り入れ、地産地消にも取り組んでいただいております。

これからも創意工夫を大切に、様々な体験を通じ、自然の恵みと地域の温かな支えを体感できる場であってください。吉野町としても引き続き、地域の皆さまとともに、一般財団法人大阪府青少年活動財団の皆さまのご理解とご協力のもと、子ども達の豊かな学びを支えてまいります。

皆さまのご健勝と今後の更なる発展を祈念し、ご挨拶とさせていただきます。

吉野宮滝野外学校の15年の歩み

オープニングセレモニー
2010.4.29



各関係者126名が参加し開設しました



財団顧問
井村雅代さん記念基調講演



杉板看板の除幕式

プレミアムキャンプの実施
2010.5月

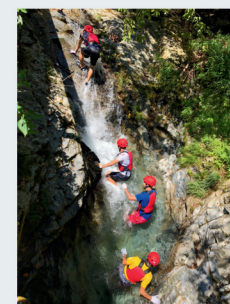


野外学校で最初の
子ども対象事業

北岡名誉校長を
囲んで



地元資源を活用したプログラム展開



2025年4月
開校15周年を迎える

2024年5月
利用累計人数（延人数）
20万人超を達成

afterコロナ
～さらなる成長・発展へ～



コロナ禍以降、チームビルディングキャンプも再開し、更に増加傾向に

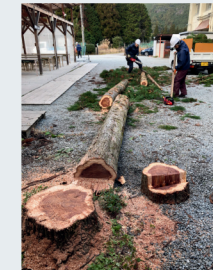


地域の運動会も大学生リーダーと一緒に盛り上げます

2020年4月
開校10周年
(協定書再締結)



中庭スペースのリニューアル



杉の木は新たな活用を



利用者の皆さまが活動しやすい快適な施設環境の向上を目指し、
野外テーブルや雨除け屋根などを職員の手作りで



吉野さくら学園をはじめとした吉野郡内の小中学校での校外学習の
受け入れ先施設として活動をサポートしています



2011年
吉野宮滝野外学校部 設置
(常時受入体制が整う)

創設期

- ・キッチンスタッフ（さつき会）や
農の達人の結成
- ・中庭 野外炊飯場の完成
- ・各種プログラム開発 等

2009年4月
閉校活用について
吉野町より説明を受ける

2010年4月
吉野宮滝野外学校 開校

2007年3月
吉野町立中庄小学校 閉校



キッチンスタッフさんをはじめ
地元の多くの方々に協力いただいています

地元の方々のご協力



学校団体の利用拡大に伴って、宿泊可能最大人数の拡充

施設管理での工夫・リニューアル

吉野町野外活動拠点施設として